

限定100人!ひと足早く「新」発見 大野城心のふるさと館プレ見学会

4月22日(日)に大野城心のふるさと館で、100人限定のプレ見学会を行いました。

参加者には、PR動画の視聴や職員による説明のほか、普段は見ることのできない収蔵庫など、館内を隅々まで見学してもらいました。

大野城心のふるさと館は「歴史・こども・にぎわい」をキーワードとして、7月21日(土)に開館します。

PR動画や市民の皆さんとのカウントダウン企画など、最新情報は専用ホームページ、SNSで更新中です。◇Facebook◇LINE◇Twitter◇Instagram (検索方法)・名前「大野城心のふるさと館」・ユーザーネーム・ID「@2018occm」※LINEのみ「@rrv3507x」



自分の手でおいしい野菜づくりを みのりある野菜教室(春夏野菜づくり編)

4月27日(金)、市役所で市民農園や家庭菜園などで野菜を作っている人を対象に「みのりある野菜教室(春夏野菜づくり編)」を行いました。

筑紫農業協同組合の講師による土づくりから肥料の種類、病害虫の防除などの講義が行われ、30人が参加しました。参加者はメモを取ったり、質問をしながら熱心に受講し、「参考になった。」「参加できてよかった。がんばって野菜を作りたい。」という声が多く上がりました。

次回は、8月に秋冬野菜づくり編を行う予定です。



「第57回博多どんたく港まつり」に大野ジョーが登ジョー!

5月3日(祝・木)、「第57回博多どんたく港まつり」福岡市役所前特設ステージに「大野ジョー」と筑紫中央高等学校ダンス部の生徒の皆さんの、市職員有志によるチームが登場し、華麗なダンスを披露しました。

また、昨年度、日経BP社によるシティブランドランキングで全国1位となったことや、7月21日(土)に開館する「大野城心のふるさと館」の紹介や、まち歩きアプリ「ジョークエスト」など、会場を埋め尽くす来場者へ向けて、大野城市のPRも行いました。



大文字

子どもが成長するにつれ、不要になるものがあります。先日、新生児用チャイルドシートを使わなくなったので、きれいにしてから後輩に譲りました。

昔から、家族や地域で譲り合いが行われてきました。自分が使わなくなったものが人の役に立つと、なんだか嬉しい気持ちになります。

昔は新聞や雑誌が情報提供の場で、やりとりは手紙でした。それが、今ではインターネット上のサービスに置き換わっています。でも、次につなげていくという営みは、今も昔も変わりません。

災害の記録も、継承していかなくてはならないもの1つです。経験を次世代につなげていくことで、もしものときに被害を軽減できるようにしなければなりません。

まずは自宅の周囲から、梅雨に備えてみませんか。

④